

戸籍のまど (10月届出分)

★お誕生おめでとう

真手望^の叶^か（奨）砂子又
 石田拓^た海^み（壮拳）尻屋
 圓子咲^り梨^あ紅^あ（学）古野牛川
 住吉樹^じ理^り（悟）尻屋
 川村樹^い生^き（典久）砂子又
 酒谷陸^り音^と（純也）小田野沢
 丹内絃^{いと}葉^は（祐）古野牛川
 圓子紬^{つむ}希^き（友和）砂子又

★ご結婚おめでとう

樋浦耐^{（砂子又）}
 （千葉佑香（宮城県））

★お悔やみ申し上げます

東田敏勝^{（白糠）} 77歳
 二本柳薫^{（小田野沢）} 76歳
 森口政幸^{（目名）} 78歳
 石田さ^{（尻）} 85歳
 二本柳う^{（尻）} 83歳
 尾山秀成^{（白糠）} 86歳
 杉本八^{（石持）} 73歳
 相内留^{（老部）} 90歳
 南川勝芳^{（小田野沢）} 83歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
 しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
 ことをお願い致します。

ひとみの里にイルミネーションを見に行こう！

ひとみの里イルミネーション点灯イベントが、
 11月13日（金）に行われ、多くの来場者でにぎわいました。
 今年は新たに13.5mのシンボルツリーが登場し、
 迫力満点の輝きを楽しむことができます。

期間：11月13日（金）～12月25日（金）
 場所：ひとみの里中央公園
 主催：WAHプロジェクトチーム
 協力：㈱ユアテックむつ営業所、むつ営業所協力会



ひがしどおりのさんぽみち

タイトル：東通村の歴史を探访
 情報提供者：広報係

今回のさんぽみちは、9ページで紹介した「下北の石器時代」の現地見学をお伝えします。

「下北の石器時代」の2日目は、実際に発掘調査が行われている現場を見学しました。見学先は、“尻労安部洞窟”のほか、同じく旧石器時代の遺跡で桑畑山を挟んで反対側にある“物見台遺跡（尻屋地区）”、国の史跡に指定されている“浜尻屋貝塚（尻屋地区）”や、旧田屋小中学校を活用している東通村歴史民俗資料館などです。

尻労安部洞窟では、実際に発掘作業を行った方が現場に立ち、どのあたりから動物骨や石器が出土し、当時の住環境がどうであったかなどの説明がありました。洞窟跡に立ってみると思いのほか手狭な印象を受けますが、まだ住居建築の技術が無かった時代には、寒い季節を乗り越える安心できる場所だったのかもしれません。

また、東通村歴史民俗資料館では、全国から集まった名だたる研究者の皆さんが村内出土の遺物に熱心に見入り、村内の遺跡がいかに貴重であるかが伺われました。

歴史民俗資料館では村内出土の遺物をわかりやすく展示しています。また、東通村の生活様式の変化がわかる民具や、廃校になった小中学校の記念資料なども展示していて、ついつい時間を忘れてしまうおススメ施設です。遺跡には立ち入ることができませんが、発見された遺物は資料館で見ることができますので、興味のある方は教育委員会までご連絡ください（27-2111）。



安部洞窟はブルーシートのあたりから遺物が出土していて、その上に人間が住んでいたと考えられています。



村内出土の旧石器に見入る研究者